

中部電気電子情報工学部会 9 月度 講演会のご案内

1. 日時： 2017 年 9 月 16 日（土） 13：30～17：00（受付：13：00～13：30）

2. 場所： 名古屋工業大学 6号館 11階会議室
大学 URL はこちら→ <http://www.nitech.ac.jp/access/index.html>

3. スケジュール：

13:00～13:30 受付

13:30～13:35 主催者開会挨拶 等

13:35～14:05 発表者 北村 瑞紀氏

名古屋工業大学大学院 工学研究科 電気・機械工学専攻
博士前期課程 2 年 森田研究室

「脳卒中片麻痺患者の自主起立トレーニングのための支援ロボットの設計」

14:10～14:50 会員講演 1 秦 武廣 氏（技術士 電気電子）
（株）デンソー

研究開発 1 部 L プロジェクト室 開発 1 課 担当係長

「半導体設計についての業務経歴紹介」

14:50～15:10 休憩

15:10～15:50 会員講演 2 村瀬 公基 氏（技術士 電気電子）
（株）トヨタデジタルクルーズ

「次世代産業（IoT、自動運転）を支える情報通知の仕組みとその限界」

15:55～16:35 会員講演 3 加藤 信之 氏（技術士 電気電子）
ジヤトコエンジニアリング（株）

エンジニアリング事業部 部品システム開発部

「VE による自動車電装品開発（仮）」

16:35～16:50 連絡事項他 閉会 主催者閉会挨拶

4. 参加費：

日本技術士会会員・準会員 : 1,000 円

同 非会員（上記以外） : 2,000 円

学 生 : 無料

5. 懇親会：

場所：「名古屋工業大学 大学会館 1F 大食堂（立食形式）」

出席：希望者のみ

参加費：3,500 円（学生は 1,000 円）

時間：17:00～19:00

申込み先：

申込みは下記の Web フォームからお願いいたします。（申込期限 9 月 8 日（金））

→<https://goo.gl/forms/cIw8CfELr9DJgToq2>

Web からの申込みができない場合、キャンセルする場合は、

部会講演会幹事 (mailto:dib_uketsuke@googlegroups.com) まで、

氏名、部門、会員・非会員の区別、技術交流会の参加の有無をご連絡下さい。

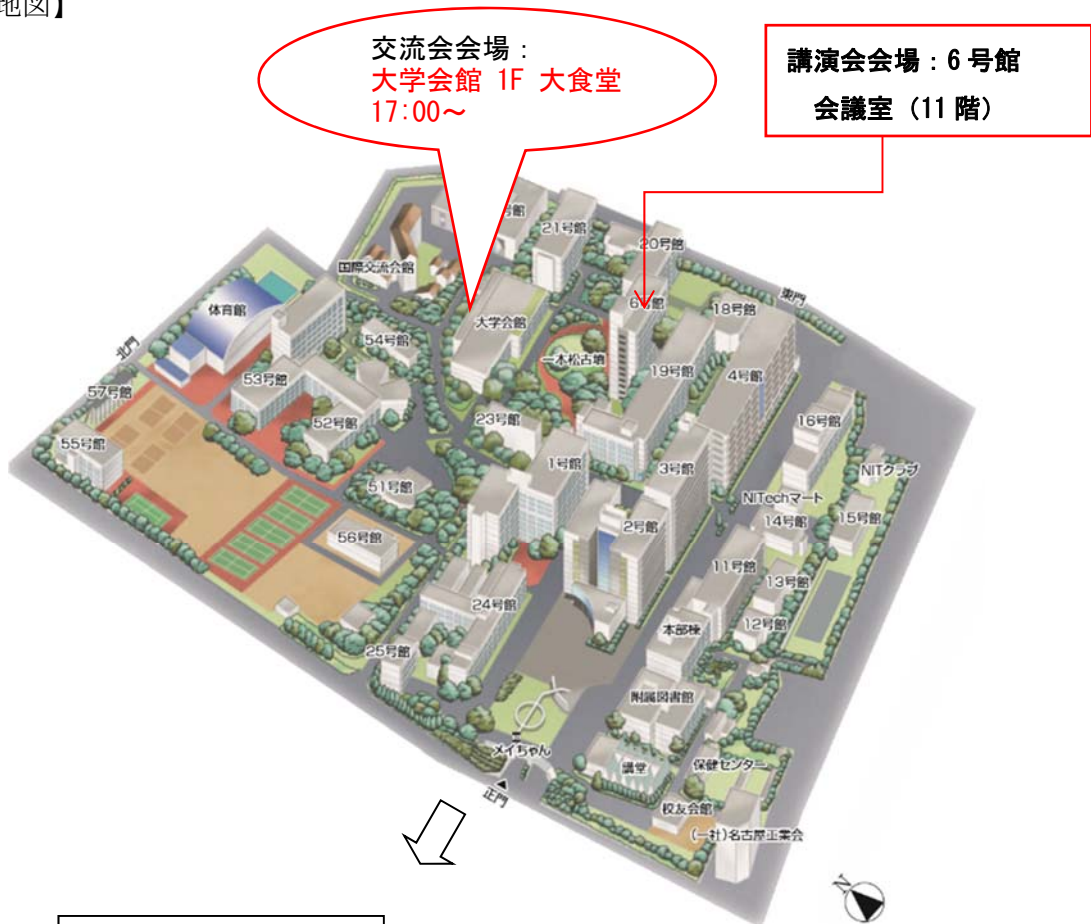
会場案内

名古屋工業大学の構内案内図

引用 URL http://www.nitech.ac.jp/access/imgs/img_map_01.jpg

正門内に構内案内看板があり、各施設の場所を確認頂けます。

【キャンパス地図】



【広域地図】



講演概要

講演テーマ：脳卒中片麻痺患者の自主起立トレーニングのための支援ロボットの設計

講演者：北村 瑞紀 氏

講演概要：名古屋工業大学森田研究室では、リハビリの療法士と企業との共同研究として、脳卒中片麻痺患者の起立トレーニングを支援するためのロボットを開発している。

本講演では、療法士による誘導動作の動作解析に基づくロボットの設計について紹介する。

講演テーマ：半導体設計についての業務経歴紹介

講演者：秦 武廣 氏

講演概要：本講演では、講演者がこれまで携わってきた業務のうち3つのテーマについて概要を紹介する。

①電源 IC の開発：負荷となるマイコンの低電圧化／大電流化により、電流変動に伴う出力電圧変動が課題となっている。電源 IC の応答性向上にむけた取組みを紹介する。

②三次元積層 IC 設計環境の構築：従来の半導体設計ツールでは2次元が前提であるため、三次元半導体が設計できなかった。デンスーにおける三次元半導体の設計環境構築への取組みを紹介する。

③LIDAR 向け IC の開発：自動運転に向けて障害物・移動体検出が可能な LIDAR への期待が高まっている。LIDAR の課題に対する受光 IC への期待について紹介する。

講演テーマ：次世代産業（IoT、自動運転）を支える情報通信の仕組みとその限界

講演者：村瀬 公基 氏

講演概要：本講演では、講演者の経験を元に、以下の事項について紹介する。

0. 自己紹介、会社紹介 1. 技術士(電気電子部門)における情報通信の位置付け 2. 社会における情報通信の位置付け 3. 身近な情報通信の仕組み 3. 1 無線区間の仕組み 3. 2 有線区間の仕組み 4. 次世代産業における情報通信の利用と限界 4. 1 IoT 4. 2 自動運転 5. まとめ

講演テーマ：VE による自動車電装品開発（仮）

講演者：加藤 信之 氏

講演概要：自動車部品に限らず、製品開発や原価低減には VE (Value Engineering) を適用する事例が増えている。本講演では、VE についての理解と、講演者の専門である自動車電装品について、実際の製品にどのように適用していくかを紹介する。